

添りて校訂を加へ、就中古書類は、東京帝國大學史料編纂掛に就き、所藏の武州文書其他によりて嚴密に之が修正を施せり。

挿入の圖繪また活字本に據れり、唯印刷上の便に従うのみ。

一 凡そ句を切り釐頭の註を設け、書名に【】の括弧を附し、或は○を町村標目の頭に加へたるが如きは、繙讀閣覽の便宜上既刊地誌大系の例に倣へるものにして、何れも皆原書になきものなり。

一 原書各卷の首にその目次を置く、今これを省き卷頭には本卷所收の分の略目次を掲ぐるに止め、之に代ふるに別に別に要目を作製して卷末に附收し専ら檢索の用に供せり。

一 本卷の校訂に當り、東京帝國大學史料編纂掛は、架藏圖書の閣覽を許され、又友人伊木壽一、花見朔巳、相田二郎の三氏は種々有益の援助を賜はれり、茲に謹んで謝意を表す。

昭和四年五月十四日

蘆田伊人識